陽だまり

令和８年１月発行

2026 Vol.53

軒下（Kesao）

CONTENTS 目次

年頭のご挨拶　医療法人慈光会　甲府城南病院　院長　深澤　功 ……2～3
シリーズ：病気の話（第27回）手足のこわばりにお悩みの方へ ……4～6
学会発表報告：第29回 日本心不全学会学術集会 ……7
陽だまり通信 No.32 お薬のお話 高血圧に注意！ ……8～9
シリーズ：部署紹介 総務課 ……10
患者満足度調査結果報告（透析患者） ……11
お役立ちコーナー 自助具 Vol.12 ……12
シリーズ：栄養と健康（第36回）スーパーフード「アサイー」 ……13
城南文芸 / 城南写真館 / お知らせ / 編集後記 ……14～15
診療体制のご案内 ……16

（広報誌　陽だまりの23号以降のバックナンバーは、当院公式ホームページにてご覧いただけます）

医療法人慈光会 甲府城南病院

年頭のご挨拶

令和8年（西暦2026年）

2026▶

医療法人慈光会　甲府城南病院　院長

深　澤　　功

FUKASAWA　ISAO

皆様、明けましておめでとうございます。
謹んで新年のお慶びを申し上げます。

まず昨年を振り返りますと、４月に大阪で158の国・地域、７つの国際機関、13の国内民間企業・団体が参加した関西万博が開幕しました。当初は成功を危ぶむ声もありましたが、公式キャラクター「ミャクミャク」の人気上昇に合わせて、イタリア館やアメリカ館を筆頭に徐々に人気が広がり、各国のパビリオンにも長蛇の列ができるなど予想以上に賑わい、10月の閉幕までに2500万人を超える来場者が訪れました。万博らしい華やかさで、有終の美を飾ることができたのが印象的でした。

一方で、昨年も８月に西日本を中心として大雨に見舞われました。各地で線状降水帯が繰り返し発生し、九州南部や日本海側の地域に大きな被害をもたらしました。また、群馬県伊勢崎市では８月に気温が41.8℃に達し、国内史上最高気温を更新しました。酷暑は常態化し、その影響は災害レベルといっても差し支えない状況です。地球温暖化による自然環境の大きな変化に戸惑いを隠すことができません。防災上の観点からは、当院においてもハードウェアには限界があることや立地の問題を考慮すると、全ての災害から病院を守るには困難な部分があることも否めません。まずは対応が可能な防災対策をしっかりと取り入れ、少しでも被害を減らすことができるように引き続き努力していきたいと思います。

政治の世界では１月にトランプ米大統領が就任し、９月には参議院選の結果を受けて石破首相が退陣表明、10月には日本初の女性首相を中心とした高市内閣が誕生しました。就任早々大きな外交日程をこなし、物価高対策に積極的に取り組むことを明言されていますので、暮らしの改善が実感できるような施策に期待したいところです。

そして昨年は、山梨県でも2040年に向けた地域医療構想の策定が始まりました。高齢化と人口減少で社会の構造が変化する中で、医療需要も大きく変化すると見込まれています。国からは、限りある医療資源を最適化・効率化しながら、「治す医療」を担う医療機関と「治し支える医療」を担う医療機関の役割分担を明確化し、地域完結型の医療・介護提供体制を構築するための基本的な方向性として次の４点が示されました。

○　高齢者救急の受入体制を強化するとともに、ＡＤＬ（日常生活動作）の低下を防止するため、入院早期から必要なリハビリテーションを適切に提供し、早期に自宅等の生活の場に戻ることができる支援体制を確保する。

KOFU JONAN HOSPITAL

○ 在宅医療について、地域の実情に応じて、医療機関や訪問看護ステーション等の連携により、地域での24時間の提供体制を構築するとともに、オンライン診療の積極的な活用、介護との連携等を通じて、効率的かつ効果的に医療提供体制を強化する。
○ 地域ごとに医療需要の変化等に対応できる医療従事者を確保する。また、今後は多くの医療資源を必要とする手術等が減少し、急性期の医療機関の経営悪化が見込まれるため、一定の症例や医師を集約して、医療を提供する体制を構築する。
○ 人口減少により医療従事者の不足が顕著となる中で、医療ＤＸ、タスクシフト・シェア等の推進により、生産性の向上を図り、地域で不可欠な医療機能を維持する。

地域医療構想の策定に向けた議論はまだまだこれからですが、これらの課題解決に向けた取り組みに当院も可能な限り協力していきたいと考えています。

当院では昨年６月に電子カルテの運用を開始しました。運用開始した際には、職員が操作に不慣れであったために、多少なりともお待たせすることがございましたが、システムの改善を行いながら、支障なく運用できるように取り組んでいるところです。
また、面会制限の緩和も行いました。成人のご家族のみという制限があるものの、予約無しで面会を受け入れることが可能となりました。新型コロナやインフルエンザの流行期には再度面会制限を行わざるを得なくなることもありますが、ご理解いただけますと幸いです。

さて、当法人では毎年重点課題を掲げて、目標達成に向かって全職員で取り組んでいます。昨年も厳しい経営状況でしたが、医療や介護の質を担保するためにはしっかりとした経営基盤が必要となるため、新年度の重点課題を「持続可能な経営基盤の醸成」とし、①医療の質の確保と感染対策の継続、②電子化を活用した業務の効率化、③タスクシェア・タスクシフト推進と働きがいのある職場環境の創出、以上の３点に取り組んでまいります。

当法人の成長と発展を目指して「患者様から慕われ、愛される病院作り」に引き続き邁進していく所存です。

今年は午年です。馬は前進の象徴であることから、午年は物事が順調に進む、運が駆け込んでくる縁起の良い年だといわれています。前向きな取り組みが実を結ぶ年になることを祈っています。

最後になりましたが、皆様方のますますのご発展とご健勝をお祈り申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

手足のこわばりにお悩みの方へ

～ボトックスによる痙縮（けいしゅく）治療～

脳神経外科　小林　史

脳梗塞や脳内出血などの脳卒中による後遺症の程度は、発症早期の急性期と呼ばれる時期の治療と、症状が安定した後の回復期のリハビリテーションでどれだけ回復できるかに左右されます。今後、新しい治療法が生まれていくことで、これまでは回復できなかった患者さんを救えるようになることは増えていくと思います。しかし、半身麻痺などの後遺症を残す患者さんが今後もゼロになることはないでしょう。

私は脳神経外科の医師として働き始めてから長い間、この脳卒中後の後遺症は治療できないものとあきらめていました。外来で患者さんから「どうにかしてほしい」と頼まれて、薬の処方を試みましたが、ほとんど効果はありませんでした。

ところが約10年前、いつも車いすで外来通院している患者さんが、その日は杖歩行で受診したので、その訳を尋ねると「ボトックスしてきた」と言うのです。その時、脳卒中の後遺症が急性期を過ぎてからも改善することがあることを、患者さんから教えてもらったのでした。これは、脳卒中後遺症のうち『痙縮（けいしゅく）』という症状に対する『ボトックス治療』というものです。

今回の病気の話は、現在当院で行われている、この『ボトックスによる痙縮治療』について紹介します。

痙縮とは

脳卒中の後遺症により、「手足がつっぱってかかとがつかず、リハビリがしにくい」「手が開けなくて洗いにくい」「肘が伸ばしにくい、着替えにくい」といったお悩みを抱える方は少なくありません。これは痙縮と呼ばれる症状で、筋肉が常に緊張してしまうために起こります。痙縮が続くと、手足を思うように動かせなくなるだけでなく、衣服の着替えや清潔動作が難しくなったり、リハビリテーションがしづらくなったりすることもあります。そんなときに効果的なのが、ボトックスによる痙縮治療です。

ボトックスによる痙縮治療

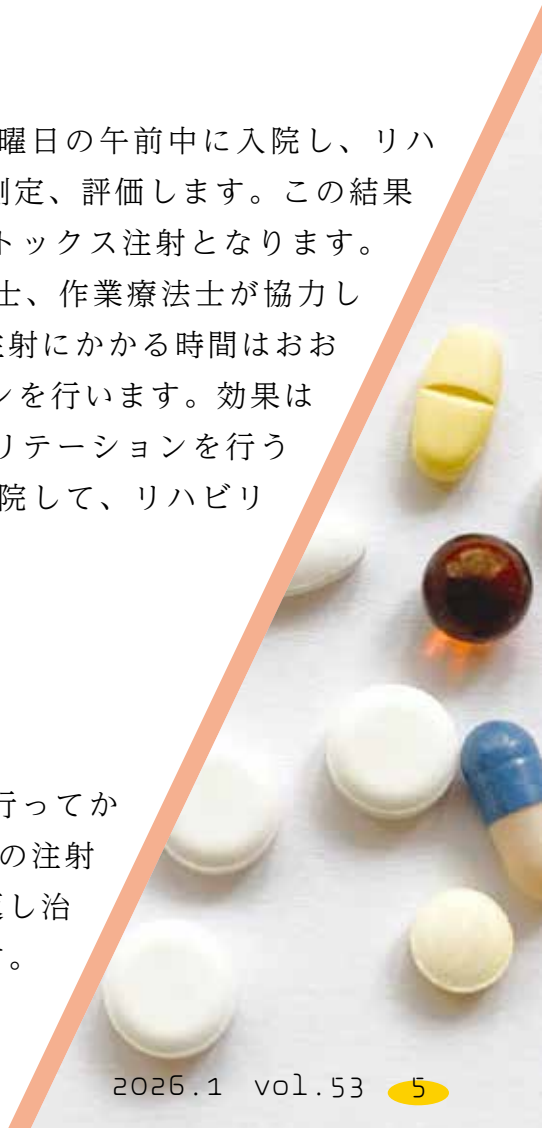
ボトックス治療は、筋肉の緊張をやわらげることで、動かしやすさや痛みの軽減を目指す治療法です。ボトックスには、筋肉を収縮させる神経の働きを一時的に抑える作用があり、注射した部分の筋肉の過剰な緊張をゆるめることができます。これにより、「腕が自然に伸ばせるようになった」「手が開きやすくなった」「足のつっぱりが楽になった」といった変化を実感される方が多くいらっしゃいます。

治療の流れ

当院では入院のうえ、ボトックス治療を行います。月曜日の午前中に入院し、リハビリテーションスタッフが関節可動域や歩行能力などを測定、評価します。この結果と患者さんの希望から、注射部位を決定し、午後からボトックス注射となります。超音波検査室で医師、看護師、臨床検査技師、理学療法士、作業療法士が協力して目的の筋肉を正確に確認しながら注射していきます。注射にかかる時間はおおよそ30分～１時間程度です。注射後にリハビリテーションを行います。効果は注射直後から現れますが、筋肉がゆるんだ状態でリハビリテーションを行うことで、より効果は高まります。そのため土曜日まで入院して、リハビリテーションを行い、効果を判定した後に退院となります。

効果の持続期間

ボトックスの効果は一時的なので、ボトックス注射を行ってから2ヶ月過ぎると、また少しずつ痙縮が出てきます。前回の注射から3ヶ月以上の間隔をあける必要がありますが、繰り返し治療を続けることで、段階的に改善することが期待できます。



日常生活の変化・患者さんの声

ボトックス治療の目的は、ただ筋肉をゆるめることではなく、生活のしやすさを取り戻すことにもあります。歩行時の足の引きずりを減らすこと、着脱介助をしやすくすること、清拭をしやすくすることなど、患者さんやご家族の日常生活の負担を軽くする効果も期待できます。

治療を受けた患者さんからは「歩くときに肘が伸びて、歩き方がスムーズになって良かった」という声がありました。逆に「一度柔らかくなって良くなったのが、また硬くなっていく時期がイヤなのでもうやりたくない」とか「指の硬さを使って買い物袋を引っ掛けていたのが、指が伸びてできなくなった」という声もありました。

最後に

ボトックスの効果は一時的ですが、痙縮の症状で悩んでいる患者さんは一度試してみてはどうでしょうか。

「手足のこわばりを少しでも楽にしたい」「リハビリをもっと効果的にしたい」「介助の負担を減らしたい」――そのようなお悩みがある方は、ぜひ一度外来診察にてご相談ください。ボトックス治療は、手術を行わずに受けられる安全性の高い治療法です。

当院では、初めての方にも安心して受けていただけるよう、治療内容・効果・注意点をわかりやすく説明いたします。専門の医師・リハビリテーションスタッフが一人ひとりに合わせた治療プランを提案し、患者さんとご家族の気持ちに寄り添いながら、より快適な生活をサポートしてまいります。

後脛骨筋へのボトックス注射

学会発表報告

第29回 日本心不全学会学術集会　に参加して

診療部　薬局　**髙野　恵介**

令和７年10月10日から12日までの３日間、鳥取県米子市で開催された第29回日本心不全学会学術集会に参加し、２つの演題について発表を行いました。

１つ目の演題は、「高齢者心腎貧血(CRA)症候群に対するHIF-PH阻害剤の効能」です。CRA症候群とは、心臓・腎臓・貧血の３つに問題を抱える高齢者にみられ、心不全・腎不全・貧血が進行することでお互いに悪影響を及ぼし、悪循環を形成するという病態です。

本演題では、腎機能障害により引き起こされる貧血に対し、HIF-PH阻害剤である「ダプロデュスタット」を継続的に服用した際の身体への影響について検討し、その結果を発表しました。

若手研究者の研究活動を奨励する「YIA賞」の受賞には惜しくも至りませんでしたが、多くの参加者の前で発表できたことは非常に貴重な経験となりました。

２つ目の演題は、「アンケートから視る薬薬連携実施の課題」です。薬薬連携とは、心不全悪化で入院された患者さんが退院する際、病院薬剤師が治療内容や注意点を調剤薬局と共有し、調剤薬局の薬剤師が患者さんを継続的に支援できるようにする取り組みです。しかし、この取り組みはまだ始まったばかりで、病院と調剤薬局との情報共有の方法や受け取った情報の活用方法など、具体的な運用面において課題が山積しています。

そこで私たちは、甲府市内の調剤薬局薬剤師の皆さんを対象にアンケートを実施し、課題の抽出を行いました。その結果、薬薬連携の実施にあたり国が定める施設基準の厳しさや、病院薬剤師に対して薬剤情報にとどまらず、食事・運動といった生活面も含めた情報提供を求められている現状が課題として浮き彫りとなりました。

これらの結果を学会で発表し、同様の課題を抱える他施設の方々との活発な意見交換を行い、情報共有することで、多くの気づきと学びを得ることができました。

学会参加を通して、日々の業務を客観的に見直す非常に良い機会となりました。このような貴重な発表の場をいただきました関係各位に心より御礼申し上げます。

今回得られた知見を現場に還元し、患者さんへのより良い支援につなげられるよう、今後も努めてまいります。

集合写真

発表の様子

高血圧に注意!

～引き起こされる病気と治療方法～

お薬のお話

診療部　薬局　髙野　恵介

高血圧とは

かかりつけのクリニックや健康診断で「血圧が高めですね」と言われたけれど、「よく聞く話だし、そんなに気にしなくても大丈夫かな？」と思っていませんか？しかし、高血圧を放っておくのはとても危険なのです。血圧とは、血液が血管を流れる際に、血管の壁にかかる圧力のことをいいます。一般的には、腕の動脈で測定した内圧を「血圧」と呼びます。高血圧の原因は、生活習慣や遺伝･体質、他の病気など、さまざまな要因が関係しており、主な原因として以下のものがあげられます。

- 塩分の摂りすぎ
- 喫煙
- 肥満
- 飲酒
- ストレス
- 遺伝・体質

高血圧は自覚症状がほとんどないまま進行し、ある日突然、命に関わる病気を引き起こすことがあるため、「サイレントキラー」とも呼ばれています。

高血圧が引き起こす病気

1.動脈硬化

高血圧が続くと血管が硬く厚くなり、もろくなります。その結果、血流が悪くなってしまう病気です。動脈硬化の一つである閉塞性動脈硬化症では、歩くと足に痛みが出ることがあり、重症化すると壊疽（えそ）を起こして足の切断が必要になることもあります。

2.狭心症・心筋梗塞

胸の痛みや圧迫感が症状として出現します。心臓の血管が狭くなり、心臓に十分な血液を送ることができなくなるのが狭心症、完全に詰まってしまうのが心筋梗塞です。

3.脳出血・脳梗塞

脳出血は高血圧と深く関係しており、血圧を安定して保つことで予防が期待できますが、発作は突然起こるため、日頃から血圧の管理が大切です。脳梗塞は脳の血管が詰まり、部分的に血流が悪くなる病気です。

4.腎障害・腎不全

腎臓の中にある糸球体と呼ばれる細い血管の集まりが傷つくと、老廃物をうまくろ過できなくなり、尿中に基準値以上のタンパク質が出るようになります。放置すると透析が必要となる場合もあります。

治療の基本

高血圧の治療は、食事療法、運動療法を基本とした生活習慣の改善、投薬による薬物療法があります。食事療法と運動療法ではそれぞれ以下の点に注意して下さい。

食事療法で気をつけること

- 塩分を控え1日6g未満とする
- 食べすぎに注意しカロリーを摂りすぎない
- お酒は控えめに

運動療法で気をつけること

- 有酸素運動が効果的とされており、頻度は定期的に（可能であれば毎日）実施し、運動量は30分以上、強度は中等度（ややきつい）が一般的に勧められています。
- 個人の年齢や基礎体力・健康状態・体重などから適切な運動量・運動内容・運動強度・運動時間・運動頻度を設定しましょう。

薬との上手なつきあい方

非薬物療法で血圧が十分に下がらない場合、薬による治療が始まります。血圧の薬は、食事療法や運動療法を続けることを前提に処方されます。薬を飲んだことで「血圧が下がったから、生活が乱れても大丈夫」と思うのは危険です。薬の効果が十分に得られず、さらに血圧が上がって薬を増やさざるを得ないこともあります。

また、薬で血圧が下がり「治った」と感じても、自己判断で減量・中止してしまうと血圧は元に戻り、血圧の変動が大きくなることで脳卒中や心疾患のリスクが高まります。

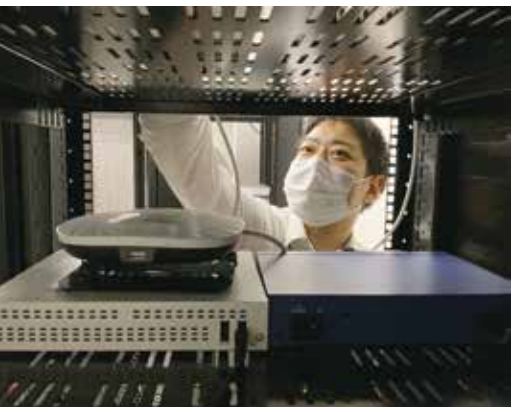
薬は医師の指示どおりに服用し、気になる症状があれば、自己判断せずに医療機関へ相談しましょう。

シリーズ　**部署紹介**

当院では『患者さんから愛され、慕われる病院作り』のために、
さまざまな部署のスタッフが日々、努力しています。
このコーナーでは、各部署を順次紹介しています。

総務課

「ヒト・モノ・コト」をまあるくつなげたい
病院の健全な運営と快適な職場環境のために



▲①院内システム
（電子カルテシステムの管理）

▲②人事・労務（採用活動）

▲③経理・総務
（会計事務所にて財務資料作成）

総務課の業務は主に　①院内システム　②人事・労務　③経理・総務の３つに大別されます。

①院内システム関連

電子カルテやネットワークの管理など、院内の様々な情報システムの運用・保守を担当しています。患者さんの大切な医療情報を安全かつ確実に管理し、全ての医療スタッフが、円滑に診療業務を行えるよう、システムの安定稼働を支えています。デジタル技術の進歩に合わせ、より質の高い医療サービスの提供を技術面からサポートし、患者さんに安心・安全な医療環境を提供する「縁の下の力持ち」としての役割を果たしています。

②人事・労務関連

人事分野では人（ヒト）に関する業務を担当しています。病院の宝である人材を最大限に活かすことに焦点を当てた業務です。採用活動や人材の育成、教育、職員のモチベーション管理などを主な業務としています。

労務分野では職員全員と直接・間接的に関わりながら ◎給与・賞与・賃金計算◎年末調整業務◎社会保険・雇用保険の手続き◎入退職手続き◎勤怠の管理◎労基法に関する手続き◎関係官庁への提出書類の作成◎規程・規則の整備 などを主な業務としています。守秘義務を持つ業務も多く取り扱っていますが、正確かつスピーディに対応することを心掛けています。

③経理・総務関連

経理分野ではお金の動きを担当しています。病院の収入や支出、患者さんの預り金や窓口現金を管理し、また月々の収支を把握するため、業務を委託している会計事務所と連携して財務資料を作成し、経営状況の確認を行うことも重要な業務です。

総務分野では物（モノ）や「病院全体」に関する業務を担当しています。病院の円滑な運営を支えるため、院内外との連携・サポート、各種書類の管理、ホームページなどの広報活動、職員の健康診断や予防接種などの健康支援、また慶弔関連の手配なども行っています。

総務課は「総て（すべて）の務め」を果たす部署とも云われます。病院全体のサポートを担い、他のどの部署にも属さない幅広い業務をカバーしながら、病院の健全な運営と快適な職場環境のために日々業務に取り組んでいます。

患者満足度調査結果報告

業務改善委員会

はじめに

当院では患者さんへのサービス向上を図るために満足度調査を継続して実施しています。
今号では令和６年12月に実施した透析患者さんの満足度調査結果報告をさせていただきます。

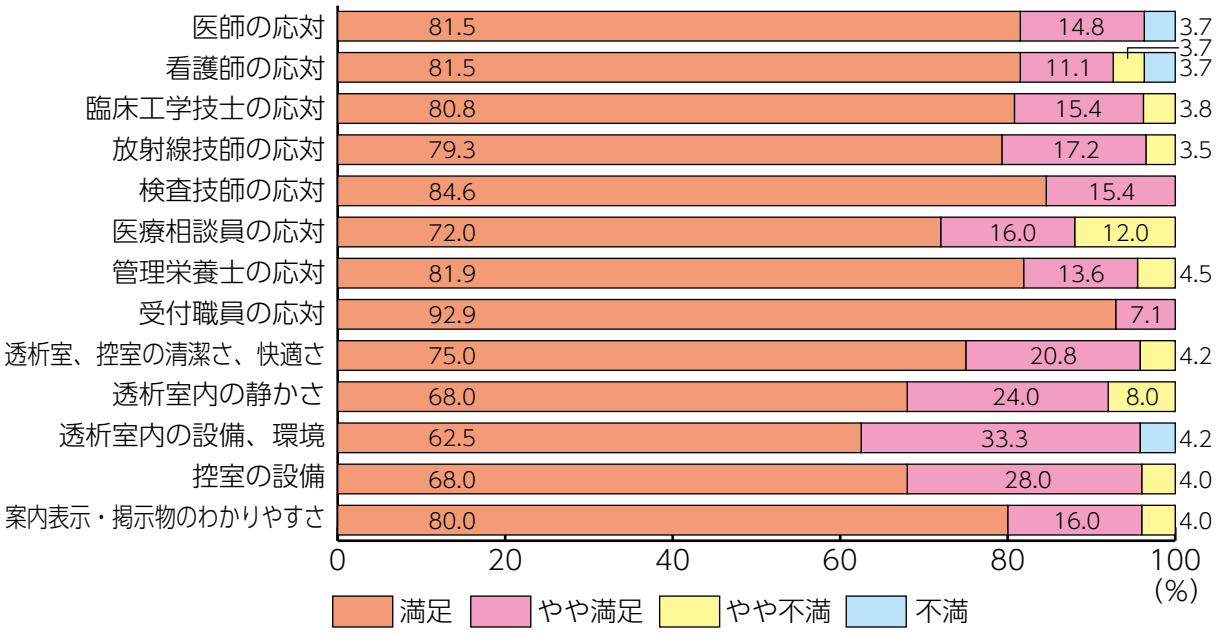
実施状況

(1)対象者	(3)集計結果
透析患者	
(2)調査期間	
令和６年12月	

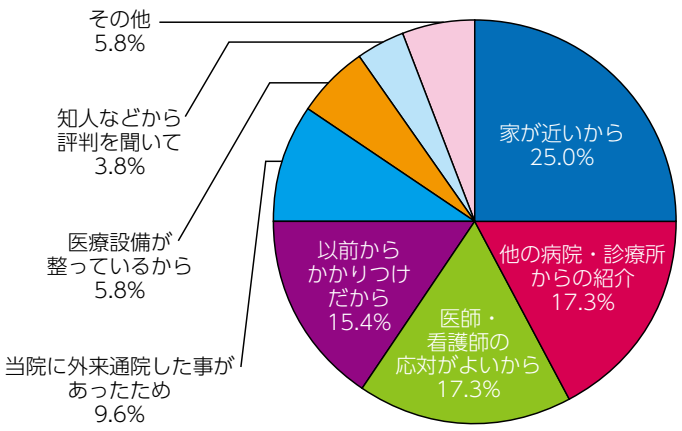
配付数	ご回答数	回答率
46名	29名	63.0%

調査結果

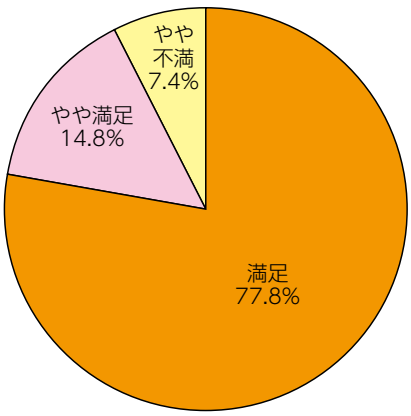
【項目ごとの満足度】



【来院動機】

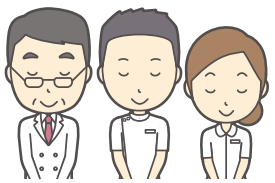


【全体的な満足度】



まとめ

患者さんに満足していただけるように、職員一同、今後もより一層精進してまいります。



お役立ちコーナー

生活の幅を広げる自助具 vol.12

第1作業療法科　中田　智寿

『自助具』（＝自らを助ける道具）とは、からだが不自由な方や高齢者の生活の幅を広げ生活を豊かにしてくれる便利グッズのようなもので、今号は『自助具』シリーズの12回目となります。

錠剤のシートや薬の袋を開封するためには、両手を使う必要があります。しかし、脳卒中の後遺症や関節リウマチなどによって片手が不自由な人は、自力で薬を開封することが困難です。そこで、今回は錠剤と薬の袋を開ける自助具を紹介します。

片手でセット、片手で押し出し、簡単に取り出せる

お薬取出器 トリダス

置いて　トリダス

参考価格：
1,738円（税込）～

■錠剤・カプセルに対応。薬の中心に確実にフィットするので、片手でもセットが簡単で軽い力でシートから取り出せます。手に持っても、置いても使えます。

薬の袋をスライドで開ける

電動レターオープナー

▲薬の袋を横にスライドさせるだけ

▲自動的にスイッチが入って開封します

参考価格：
2,090円（税込）～

■本来は封筒を開けるために使う商品ですが、薬などの袋も、端を差し込みスライドさせれば開けることができます。

他に代替品として洗濯ばさみとハサミを使用した開け方もあります。薬の袋が立つように袋の下方を洗濯ばさみで固定し、立った薬の袋の上方をハサミで切って開封する。

※紹介した自助具は、介護用品取扱店や通信販売等で購入できます。

栄養と健康 ―― 第36回 ――

スーパーフード「アサイー」

栄養科　石井 紀久子

アサイーとは

アサイーはスーパーフードと呼ばれる栄養価の高いフルーツです。南米原産のヤシ科の植物で、小さな紫黒色の直径約1～2㎝ほどの実で、見た目はブルーベリーに似ています。高温多雨なアマゾンの過酷な生育環境の中で育つことから、生命力の非常に強い「奇跡の果物」とされてきました。

人気の理由

アサイーには、ポリフェノール・鉄分・ビタミンE・ビタミンB1・ビタミンB12・食物繊維・カルシウム・マグネシウム・オレイン酸・α-リノレン酸・葉酸・アミノ酸など様々な栄養素が含まれています。中でも高い抗酸化作用をもつポリフェノール（アントシアニン）が豊富です。アサイーのほのかな渋みは、このアントシアニンに由来しています。またレバーの3倍の鉄分をはじめとして、ミネラル類、ビタミンEやビタミンB群、18種類のアミノ酸のほか、オレイン酸（オメガ9系脂肪酸）や体内で生成できないα-リノレン酸（オメガ3系脂肪酸）も含まれています。

美味しい食べ方

栄養素たっぷりのアサイーは甘みも酸味も少ないので、他の食材と合わせて食べるのがおすすめです。「アサイーボウル」や「アサイースムージー」などは摂取が手軽で、見た目にも美味しく楽しめるスイーツになります。

◎アサイーボウル

【材料】（1人分）
〈ベース〉　・アサイーピューレ（半解凍）50g
　　・水切りヨーグルト25g
〈トッピング〉・バナナ（輪切り）1/2本　・いちご2粒ほど
　　・ブルーベリー6粒ほど　・他お好みのフルーツ
　　・グラノーラ適量　・ミックスナッツ適量

【作り方】
1 ボウル（器）にベースを盛る。
2 トッピングを彩りよく盛り付けて完成。

◎アサイースムージー

【材料】（約1杯分／約270ml）
・アサイーピューレ（半解凍）100g　・バナナ1/2本
・冷凍いちごまたはミックスベリー50g・豆乳または牛乳150ml
・ヨーグルト（プレーンタイプ）30g
・はちみつお好みの量でOK

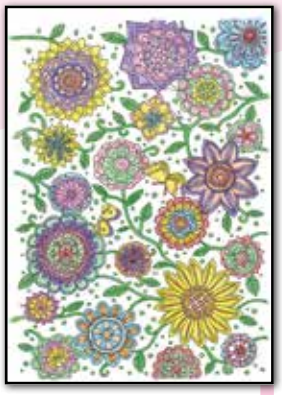
【作り方】
1 材料を冷やしておき、アサイーは半冷凍にしておく。
2 ブレンダーにすべての材料を入れ、なめらかになるまでかき混ぜる。
3 グラスに注いで完成。

※アサイーの果実は収穫後すぐに酸化が始まるため、日本国内では生のアサイーの果実は販売されていません。
※合わせる材料によりカロリーが変わります。
糖質やカロリーが気になる人は、使用する材料を工夫してみてください。

〈参考〉Cosmo Spark・Tomorrow column・タマチャンショップ

城南文芸

◆塗り絵：こんな家があったらいいな
（２病棟入院患者　片岡 シマエさん【101歳】）



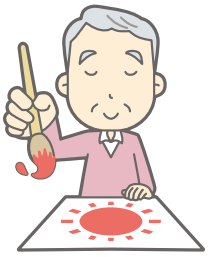
◆塗り絵：こんな花があったらいいな
（２病棟入院患者　片岡 シマエさん【101歳】）

◆塗り絵：晩秋の富士
（ひかり利用者　竹内 敬雄さん）

◆塗り絵：汽車と紅葉
（ひかり利用者　望月 進さん）

◆塗り絵：冬の味覚
（外来患者　青柳 哓代美さん）

◆塗り絵：子どもみこし
（外来患者　青柳 哓代美さん）



お知らせ　Jonan Pickup News

デイケアひかり

　デイケアひかりは、令和5年7月から午前・午後それぞれ3時間のリハビリ特化型デイケアとなりました。
　サービスの内容としては、理学療法士・作業療法士による身体機能や生活状況の評価に基づき、利用者さん個人に合わせたプログラムの提案、運動指導を行っています。また、筋力強化を目的にしたレッグプレス、チェストプレスや、手足の固まりの予防・むくみの軽減を目的にしたパワーアシストハンド・レッグなど、新たな機器を導入し、利用者さんの身体状況に応じたリハビリテーションを行っています。看護師や介護福祉士も運動に対しての助言を行い、多職種で連携して利用者さんにサービスを提供しています。

　2年経過しましたが、利用者さんからはご好評いただき、「立つ時に足に力が入るようになった」「手足の関節が動かしやすくなった」などの声をお聞きしています。また、機器を導入したことで、身体機能の改善に加え運動習慣の定着にもつながっています。

（デイケアひかり）

JONAN Photo Studio 城南写真館

◆夕暮れの富士山（Yota）

◆白川郷（Kesao）

◆兼六園（CPAP）

◆リゾナーレ八ヶ岳（Ashizawa）

◆はじめてのスキー教室（焼きそばパン）

◆trick or treat（北極ラーメン）

編集後記

本年２月にミラノ・コルティナ五輪が開催されます。冬季五輪の華といえばフィギュアスケートですが、今回注目しているのは選手だけではなく、ＩＳＵ（国際スケート連盟）スケーティング・アワードで日本人として初めて「最優秀コーチ賞」を受賞した濱田美栄コーチです。濱田コーチが指導のうえで何より大切にしているのは、競技への「好き」という気持ちだといいます。

自己を中心に置く価値観が強まる近年ですが、この「好き」を軸に周囲を支え続ける姿勢を目にし、病院スタッフとしての大切な原点を思い起こしました。

患者さんへの日々の診療や支援の根底にある「人を支えたい」「よりよい医療を届けたい」という思いを、新年の始まりに再び胸に刻みます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。（広報委員会）

診療体制のご案内

ー 令和８年１月現在 ー

■外来診療受付時間

	月・火・木・金	水　・　土
午　前	８：００～１１：３０ （診察は９：００～）	８：００～１１：００ （診察は９：００～）
午　後（予約診療あり）	１３：００～１５：３０ （診察は14：００～）	休　診

※緊急手術等により診察時間が遅れる場合がございます。
※検査の内容によってはお呼びする順番が前後することがございます。
※午後は予約診療が優先となり、順番が前後することがございます。
※特別診療は原則予約が必要となりますので、受診を希望される方は外来受付までお問い合わせ下さい。
※当院は救急指定病院、労災指定病院です。

■外来診療担当医

			月	火	水	木	金	土
内　科	午前	再診	橘田 吉信	藤岡 大佑	藤原 裕季	小林 亜樹	高野　一	露口 直彦
				矢野 利明				高野　一
		初診	藤原 裕季	小林 亜樹	矢野 利明	橘田 吉信	藤岡 大佑	
	午　後		小川 竜次	高野　一	休　診	小川 竜次	露口 直彦	休　診
脳神経外科	午前	再診	深澤　功	小林　史	杉田 正夫 （第1・第3・第5）	深澤　功	小林　史	杉田 正夫
					深澤　功 （第2・第4）			
		初診	若井 卓馬	深澤　功	若井 卓馬	小林　史	佐藤　崇	脳神経外科医
	午　後		佐藤　崇	小林　史	休　診	若井 卓馬	杉田 正夫	休　診
特別診療	曜日 診療科名 担当医		毎週 月（午後） 心臓血管外科 榊原 賢士	第2・4 火（午後） 心臓血管外科 中島 博之	毎週 火（午前） 不整脈 矢野 利明	毎週 木（午後） 循環器内科 佐藤　明		第2・4 土（午前） 脳脊髄外科 山梨大学医学部

休日／時間外の救急診療	お電話の上お越し下さい。TEL 055-241-5811	
	内　科／循環器内科	脳 神 経 外 科

■関連診療

はじめに医師の診察又は他医療機関の紹介状が必要です。

●人工透析

●放射線科
・ＭＲＩ
・ＣＴ
・血管撮影

●リハビリテーション科
・理学療法
・作業療法
・言語聴覚療法

■医療相談

●医療相談室
・入退院のご相談
・介護保険のご相談
・福祉サービスのご案内
・入院費のご相談

■栄養相談

●栄養科
・栄養のご相談・嚥下調整食
・退院後の食事・介護食

■関連事業

●人間ドック　●脳ドック
●生活習慣病健診(企業健診)

（お申込先）健康管理室
直通 055-243-6550
FAX 055-243-3731

■在宅サービス

総合在宅支援センター ひかり
直通 055-241-6015
FAX 055-241-6091

●ひかり指定居宅介護支援事業所
・介護保険に関するご相談
・要介護認定の申請代行
・ケアプランの作成

●ひかり通所リハビリテーション事業所
・半日のリハビリ特化型
・個別、集団リハビリテーション
・機能向上訓練（器械）

●医療法人慈光会 甲府城南病院
〒400-0831 甲府市上町753-1 TEL(055)241-5811　https://www.kofujonan.or.jp　（題字は露口直彦理事長）